

# かけがわの森から

掛川市森林組合通信



2025年秋号 Vol.73



林業と狩猟の  
連携と進化が、  
未来をつくる。

お互いのステージで、  
森林の動植物の生態と環境に  
真摯に向き合う関係性。  
地域課題を解決するために、  
連携と進化へ。

## 榛村航一 組合長の 元気もりもり(森・森)通信 41

### 合併総会へ、未来を拓く決断のとき

去る8月30日の通常総会、そして9月5日の説明会において、合併協議の進行状況を説明させていただきました。残暑厳しい中にもかかわらず、多くの組合員の皆さまにご参加いただきましたことを、心より御礼申し上げます。

これまでの歩みを振り返りますと、令和4年(2022年)の通常総会で「業務提携研究会」の立ち上げを承認いただき、その後2年間にわたり両組合での協議や分科会、職員研修を重ねて業務提携の在り方を研究しました。令和6年(2024年)の通常総会で「合併協議会」の設立が承認され、今日に至るまで「合併の基本事項」や「合併契約書案」といった具体的内容を協議し、組合員の皆さまにご説明できる段階に至りました。この3年間、十分に時間をかけて慎重に検討を積み重ねてきた成果が、今の進展につながっています。

次のステップは、来たる11月29日(金)に開催する合併総会です。ここで「合併」そのものや「合併契約書」などを審議し、最終的に合併の是非をご判断いただくこととなります。この合併総会は、掛川市森林組合と森町森林組合の将来を決める極めて重要な場であり、組合員一人ひとりのご意見とご判断が欠かせません。

なぜ合併が必要なのか。森林・林業を取り巻く環境は依然として厳しく、担い手不足、人口減少、少子高齢化、木材価格の変動、気候変動の影響など、多くの課題が押し寄せています。今後も地域の森林を守り育て、組合員の山林を適切に管理し続けていくためには、組織規模を拡充し、経営基盤を強化することが不可欠です。二つの森林組合が「つなぐ」遠州みらい森林組合として新たにスタートすることで、人材の確保・育成や木材の安定供給力の向上、国や県の施策に対応できる受け皿機能の強化など、多方面での相乗効果が期待されます。

**【合併総会】11月29日(土)に開催いたします!**  
合併総会は、今後の組合の方向性を決定する極めて重要な総会となります。組合員の皆さまにはぜひともご都合をつけていただき、ご参加くださいますよう、くれぐれもお願ひ申し上げます。

## 「これいい!」 購買担当「リエさん」の オススメGOODS!!

キャンプにもぜひ♪  
約4時間使用可能!!

**パワー森林香**  
¥1,870 (税込価格)

- 家庭用蚊取り線香の約10倍の効力をもつ線香です。
- 人体に影響が少ない成分なので安心!



**防虫器**  
¥1,540  
(税込価格)

草刈りや広い野外での活動時にオススメです!  
**腰に下げると携帯もできます!!**



**組合員さまへのお願い** | 相続等で所有山林に異動が生じた際は森林組合へご一報ください。



発行元  
**掛川市森林組合**  
〒436-0335 静岡県掛川市大和田320-1  
TEL.0537-25-2111 FAX.0537-25-2113  
<https://www.kakemori.jp>



かけ森インタビュー 22

森林の生態系に深く関わる、という共通項。お互いに、地域への配慮や安全意識を常に高くしておきたい。

猟期の狩猟だけでなく、有害鳥獣への対処や自然環境の保全を目的に活動する小笠猟友会。自然の恵みを楽しむという意味では森林組合と接点がありつつ、知らないことも数多くあり、お互いの連携へと話が及びました。

宮内…猟友会は、どのような活動をしているのでしょうか？

加藤…猟期になるとシカやイノシシの猟をしています。今日集まったグループでは、猟期内でイノシシ3頭、シカ40頭くらいの捕獲数です。普段はみんな仕事があり、猟期になると週末の土日に集まって毎週のように山に入ります。原野谷ダム北部や、西之谷方面が多いですね。

原田…捕獲したシカなどはどうするのでしょうか？

石山…猟で獲ったものは法律上売買できないので、解体して自己消費するのが原則です。ただ、市の有害鳥獣駆除での捕獲は、全頭焼却処分になります。

守ってくれる仲間じゃないと危ないですから。

宮内…チームワークや安全への意識が重要なのは、私たち組合の作業にも通じると思います。

石山…特に銃を持つて間もない人を連れて行くのは慎重になります。銃の扱いと安全管理の基礎ができてからです。撃つことより、作法を身につけてもらうことが重要。ここにいる若いメンバーも、猟の実際をちゃんと勉強しようとして、二年間は銃を持たずに一緒に出掛けました。

落合…森林組合の人が伐採作業をしているのは、チェーンソーや重機の音が山に響くので、すぐに分かるようにしたいと思っています。



加藤…音がしなくても林道の脇に車が止まっていたら、近くに人がいる可能性があるから無理に猟は行いません。

原田…そのような配慮もしていただいているのです。私たちも猟期に調査などで山へ入る際は、なるべく目立つ格好をしたり、

鈴をつけたりして自分の存在を知らせるようにしたいと思います。

宮内…地元の方々のコミュニケーションは大切だと思います。

ん。移動中に会って話をすると、やはり獣害に悩まされていることがよくわかります。今年は熊の出没もありましたね。

宮内…確かに獣害は深刻です。地域住民や農家、私たち林業者も獣害対策にはかなり気を配らなければならなくなりました。野生動物とどのように向き合っていくかは、里山の大きな課題ですね。

地域の中で動物たちがどのように生息しているかを一番よく知っているのは、猟友会の皆様です。これをきっかけに、連携を深めていければと思います。

座談会を通じて、猟友会の皆さんが安全に細心の注意を払いつつ、獣害対策という重要な役割を担っていることが分かりました。森林組合として、今後は作業エリアを含めて情報共有など、密接な連携を図っていく重要性を再認識しました。



静岡県のツキノワグマ情報

コラム・美林掛川へ 特殊伐採技術を活かした緑の整備

施業整備課長 長嶋 勝樹



近年、掛川市内でも大雨や暴風による災害が増えています。本来、樹木は保水能力や土を保持する能力を備えているのですが、整備が不十分であったり、そのキャパシティを超えてしまったりすると、倒木などのリスクに繋がってしまうことがあります。実災害に加え、報道やSNSでの発信が増えたこともあると思いますが、家屋裏の山林やインフラ施設周辺における災害予防のための伐採依頼をたくさんいただくようになりました。

そのような伐採現場は、様々な構造物が近くにあったり、道路のそばで一般車両が通行していたり、作業条件が限られていることがほとんどです。そこで活きるのが、普段の森林整備で培った「特殊伐倒技術」です。危険木をいかに安全に伐採処理するか、常に緊張感を持って作業する必要があります。

また、こうした事前の危険木伐採は、地域のくらしを守ることも大きく貢献

献することから、私たち森林組合の重要な使命の一つだと捉えています。実際の施工の際には可能な限りご要望にお応えできるよう、綿密な打ち合わせを重ね、安全性とコスト面にも十分配慮しながら作業を進めさせていただきます。対象となる樹木によっては、森林環境譲与税を財源とした掛川市の「おかえり『森林』総合対策事業」の補助金を活用することもできます。家屋や道路付近に危険と思われる木を所有されている方は、ぜひお気軽にご相談ください。



おかえり「森林(もり)」総合対策事業の詳細はこちら



トピックス

第64回通常総会が終了 全議案が承認・可決

去る8月30日(土)に第64回通常総会が掛川市生涯学習センターにて開催されました。本人出席62名、書面議決権行使124名の計186名(出席率72.4%)にご出席をいただき、全議案が承認可決されました。また、第10号議案として役員改選の件が上程され、役員11名全員が再任されました。今回も無事に事業報告ができましたのも、組合員の皆様をはじめ、関係機関の皆様のおかげと心より御礼申し上げます。また、今期も引き続きご理解とご協力、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

■役員紹介

代表理事組合長	榎村 航一	理事	戸塚 昌男
代表理事副組合長	中山 高志	理事	尾崎 友昭
理事	戸塚 喜重	代表監事	柴田 貞雄
理事	鈴木 卓雄	監事	藤浦 学
理事	草賀 倫教	監事	榎村 晋
理事	大嶽 一成		

新人職員紹介

技術員 星野 恵太



今年の9月から掛川市森林組合の技術員として働いています。私は中学生の頃、近所の神社で伐採作業をしているのを見かけたことがありました。その時、不思議と心を惹かれたこと、作業に見入ったことを今でも覚えています。そこから学校の調べ学習で林業について自ら学ぶようになり、天竜林業高校へ進学を決めました。卒業後は天竜森林組合に就職して、約15年間の経験を積みましました。生活スタイルの変化で掛川市森林組合にお世話になることになりましたが、今までの経験を活かし、早く皆さんの役に立ちたいと考えています。精一杯頑張りますのでよろしくお願い致します。